

単位数	3 単位	副教材等	プリント・新聞等
学年・学級	第3 学年A～F組		
教科書	最新 現代社会 新訂版 実教出版		

1 学習の到達目標

<p>1. 青年期の課題を明確にし、自己の生き方を考える。 2. 日本国憲法の平和主義、民主主義、基本的人権の考え方を身につける。 3. 社会のさまざまな出来事を知るために技術を身につける。 4. 現実社会の矛盾について、自分の考えをもち、どう行動すべきか考えられるようにする。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容・学習活動	評価方法
第1学期	4	第1部 私たちの生きる社会 第3章 生命科学と情報技術の課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代の医学が問う生死のあり方 生命科学の発展と倫理 高度情報社会の現状と問題点 	<ul style="list-style-type: none"> 生殖医療や死の問題を考察し、さらに科学技術の発展が人類にもたらす影響を考察する。 情報化社会のメリットデメリットを理解し、情報化社会への対応を考察する。 青年期の特徴と意義を学びます。 青年期の課題として自己を知る努力をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の様子 授業プリント 中間考査
	5	第2部 現代の社会と人間 第1章 自分らしく生きる	<ul style="list-style-type: none"> 生涯における青年期の意義 青年期と自己形成の課題 職業生活と社会参加 現代社会と青年の生き方 		
第1学期	6	第2章 人間としてよく生きる	<ul style="list-style-type: none"> ギリシアの思想 宗教の教え 人間の尊厳 人間の自由 個人と社会 人間性の回復 人間への新たな問い 	<ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシア哲学中心に学習します。 古代中国思想中心に学習します。 宗教の意義を考え、世界3大宗教中心に学習します。 哲学の発展を学び、現代社会の精神的問題点を考えます。 現代の国際化・情報化社会における諸問題を理解し、解決を模索・探求します。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストの論述問題 授業プリント 期末考査
	7		<ul style="list-style-type: none"> 中間考査 		
第2学期	9	2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> 人権保障の発展と現代社会 国民主権と民主政治の発展 	<ul style="list-style-type: none"> 人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて学習します。 大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について学習します。 日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。 日本の行政、立法について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の様子 授業プリント 中間考査
	10	第2章 日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立 平和主義と日本の安全 基本的人権の保障 人権の広がり 		
	11	第4章 日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 政治機構と国民生活 人権保障と裁判所 地方自治 選挙と政党 政治参加と世論 	<ul style="list-style-type: none"> 司法制度を理解し、法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 地方自治の意味を理解する。 政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の様子 授業プリント 期末考査
	12		<ul style="list-style-type: none"> 中間考査 		
			<ul style="list-style-type: none"> 期末考査 		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向	① 国際社会における政治と法 ② 国家安全保障と国際連合 ③ 冷戦期の脅威と冷戦後の脅威 ④ 軍備競争と軍備縮小 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 国際法の意義について理解する。 国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解し、その課題を考察する。 核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の様子 授業プリント 学年末考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容に関心を寄せているか。 現代社会における思想的な諸問題および政治的な諸問題について内容を理解しようとしているか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を理解し、知識として身につけることができたか。 単なる一般的知識習得に終わらず、自分のための知識として役立て、大人としての自己確立、人格形成へとつながられるか。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 短絡的に考えず、思慮深く判断するようにしているか。 テーマについて幅広い視点からとらえようとしているか。 論理的に自分の考えをまとめられるか。

4 評価の方法

<p>定期考査および、小テスト、課題プリント、レポート、ノート、授業への参加の様子などを総合して評価します。</p> <p>1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>第1学期の倫理的な分野については知らないことがたくさんあるかもしれませんが、実はふだん私たちは知らず知らずのうちに“哲学”という学問を実践しているのです。「今日のお昼何を食べようかな?」と考えることも、“哲学”の実践といえます。堅苦しく考えず、“哲学”と向き合ってもらいたいと思います。</p> <p>政治とは自分たちのくらしと社会の動きの根本を考えることです。言葉を覚えるだけでなく、民主政治を担う市民の一人として関心・疑問を是非もってください。また、日々のニュースを見聞きし、現実の社会の中でどのように政治が動いているかを主権者の一人としてとらえることが大切です。</p>
